

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	地域活性化DMO推進事業（政策）						事業類型	一般事務
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 まち・ひと・しごと創生法 地域再生法
			07	01	02	14	政策経費	
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	行政の関与
	1 産学官連携						担当課係等	観光課
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業								観光DMO推進担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 観光DMOの観点から、地域の様々な事業者が連携し地域の資源を活用した事業を構築・展開することで、交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出へつなげ「稼ぐ地域づくり」を目指す。	【関連事業】 農山漁村活性化推進事業 交流センター管理運営事業	
【期待される効果】 交流人口の継続的な拡大、新たな産業化の実現・雇用の創出といった「稼ぐ地域づくり」に資する	【対象者】 市民	
【全体概要】 具体的には、交流センターを拠点に事業を展開する「株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー」を中心に、歩崎地域や近隣の観光資源を効果的に組合せ、磨き上げ、魅力をアピールし、来訪客が年間を通じて域内に訪れ、賑わいと経済活性化がもたらされる地域づくりを行うものである。	【特記事項】 まち・ひと・しごと創生事業関連での平成30年度から新規事業化	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩崎地域観光振興アクションプランの策定</li> <li>・市奨励品地産外商推進事業</li> <li>・地域資源魅力向上推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩崎地域観光振興アクションプランの実施</li> <li>・情報発信ツール作成（デジタルサイネージ、HP）</li> <li>・体験プログラムの実施など</li> <li>・montbellとの連携（フロントエリア登録）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩崎地域観光振興アクションプランの実施</li> <li>・体験プログラムの実施など</li> <li>・montbellとの連携</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	8,008	1,893	1,100
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	11,720	2,592	2,220
歳入計（千円）		19,728	4,485	3,320
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	190	0	135
	11 需用費	0	0	14
	13 委託料	19,516	3,805	2,200
	14 使用料及び賃借料	0	680	0
	19 負担金、補助及び交付金	23	0	971
歳出計（千円）（A）		19,728	4,485	3,320
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -25.9 予 皆増
職員人工数		1.30	0.60	1.35
職員人件費（B）		9,773	4,652	10,536
総事業費（A）＋（B）		29,502	9,137	13,856

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	歩崎地域観光振興アクションプラン事業	事業数	目標	1.00	1.00	2.00
	アクションプランに基づく、運営面も考慮した具体的な体験プログラムの実施実績		実績	1.00	1.00	0.00
	地域推奨品の販路拡大	品目	目標	5.00	10.00	15.00
	ECサイトで取り扱う商品数		実績	6.00	42.00	0.00
成果 指標	観光消費額の増加	千円	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	新たな体験プログラムの実施により発生する観光消費額		実績	100.00	120.00	0.00
	売上額の増加	千円	目標	71,787.00	56,437.00	60,723.00
	株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーの売上額		実績	64,183.00	55,697.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 観光DMO事業は、かすみがうら未来づくりカンパニーを設立させ取り組んでいる重要施策であるため、密接に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 本市が出資して設立した会社を中心として、行政だけでは補えない役割を担うとともに貴重な成果を創出していることから妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 地域の人・事業者・生産者などがより連携を深めることで、地域活性化や交流人口の増加に結びつけることができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 交流人口の増加など確実に実績を積み重ねており、地域の機運向上や連携強化に影響がでることが懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 多くの事業が関連しているため、連携して事業を実施している。事業の統廃合は、事業目的や成果に合わせて細分化及び再統合することは可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 事業の成果は事業費や人件費に比例するため、現段階での削減は事業に支障がでることが懸念されることから、一定の成果が得られてから検討することとする。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交流人口の増加を目的にしていることから、不特定多数の方々を受益者ととらえているため、公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎地域振興アクションプランにおける、具体的な短期・中期・長期の目標達成のため、更にかすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化して確実に実施していく。また、リニューアルした各情報発信ツールを有効活用していく。さらに、モンベルタウンに登録して連携することで、新たな客層の掘り起しや新たな事業展開を検討していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 貝塚裕行
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画) 歩崎地域振興アクションプランに基づき確実に事業を実施していく。また、サイクリングを中心とした体験プログラムをさらに発展させ、古民家江口屋や歩崎棧橋なども複合的に組み合わせた体験プログラムなどの提供するなど楽しみ方を拡充させることで、観光誘客力を高めていく。また、引き続きモンベルとの連携を強化し、新たな事業誘致等も含めて検討していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 鈴木芳明
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 歩崎地域振興アクションプランを年次的に確実に実施していくことにより、地域の活性化と交流人口の増加が図られることに期待が持てる。民間事業者などの知識や強みを積極的に取り入れながら、古民家や歩崎棧橋などの新たな施設が整備されたことから、新たな施設と既存の施設との連携、更には新たなプログラム開発に取り組むことが重要である。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	シティプロモーション事業（政策）						事業類型	その他	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	特になし
			07	01	02	15			
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(4) 広報・広聴活動の充実						市民協働	市民の関与	
	1 広報・広聴						担当課係等	観光課	
①広報活動の推進						自転車・企画推進担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

<b>【目的】</b> かすみがうら市まち・ひと・しごと創生総合戦略のうち「新しい人の流れをつくる」の実現に向け、市の知名度向上や特産品などのPR及び販路拡大などによる交流人口の増加を図る。	<b>【関連事業】</b> なし
<b>【期待される効果】</b> 地域資源のPRを推進することにより交流人口が増加するとともに地域産業の活性化を図る。	<b>【対象者】</b> 市民 市外の住民
<b>【全体概要】</b> ・シティプロモーションの推進を図り交流人口の増加による地域の活性化を図る。	<b>【特記事項】</b> 平成30年度からしごと創生事業から新規事業へ
<b>【平成30年度 事業内容】</b> ・シティプロモーションの推進 ・県人会や大栈橋マルシェ等でのPR活動 ・都内飲食店での市産の食材を使った料理の提供 ・市公式キャラクターの制定	<b>【令和元年度 事業内容】</b> ・シティプロモーションの推進 ・県人会等でのPR活動 ・都内での市産の食材のPR活動 ・市公式キャラクター着ぐるみ作成等 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・シティガイドブックの作成
<b>【令和2年度 事業内容】</b> ・シティプロモーションの推進 ・県人会等でのPR活動 ・都内での市産の食材のPR活動 ・市公式キャラクタープロモーションツール作成 ・市公式キャラクターを活用したPR活動 ・シティガイドブックの作成	

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	7,596	7,612	7,732
歳入計（千円）		7,596	7,612	7,732
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	182	134	230
	11 需用費	1,435	1,044	1,200
	12 役務費	0	0	245
	13 委託料	5,856	6,324	5,807
	14 使用料及び賃借料	123	110	250
歳出計（千円）（A）		7,596	7,612	7,732
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 1.57 予 -11.2
職員人工数		1.01	1.08	1.75
職員人件費（B）		7,593	8,373	13,657
総事業費（A）＋（B）		15,189	15,985	21,389

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動指標	シティプロモーションの取組	式	目標	14.00	14.00	14.00
	交流イベント等の参加による首都圏へのPR		実績	15.00	15.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	交流人口の拡大	人	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	プロモーション活動による交流		実績	11,682.00	13,000.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> シティプロモーションによる交流人口の拡大に寄与している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 大きな消費先である首都圏を中心とした市や商品等のPR活動による知名度向上や販路拡大のための費用として重要な施策である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> ネットで購入できるECサイトやふるさと納税制度により、商品等を気に入ってリピートできるツールを増やしすることで相乗効果を期待したい。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 当市のポテンシャルを十分に生かし切れていない現状を打開するための施策なので、将来的な展望に影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> シティプロモーションは、市の魅力を総合的にPRすることによって相乗効果が期待できるので、庁内体制を強化して市全体としての取り組みが必要である。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 費用と人員を増加させることにより、その効果が飛躍的に向上できると見込んでいる。組織的な取組が不可欠なことから、仕組みづくりの検討が必要。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市全体に係る施策のため、公平性は確保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	首都圏を中心としたPR活動に加え、リピーター確保のための近隣市町村へのPRも継続して注力していく。市公式キャラクターを活用したLINEスタンプやグッズ販売などにも積極的に展開していく。また、より庁内で取組を強化できるよう体制の拡充を図るとともに、総合的なプロモーション活動を推進していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 貝塚裕行
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) シティプロモーション事業を継続し、引き続き市の知名度向上と交流人口の増加、販路拡大に努めていく。市公式キャラクターを活用して新たな事業展開を推進していくことで、PR効果と高感度の向上を図っていく。現在は、観光商工の観点を中心とした事業展開を実施しているが、市をトータルプロデュースする事業展開ができるような体制強化を図っていく必要がある。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策))		記入者: 鈴木芳明
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) シティプロモーションは対外的な市の営業活動となる重要な事業なので、引き続き注力して事業を実施しなければならない。好評を得られている市公式キャラクターをより活用できる事業展開を企画し着実に実行していかなければならない。今後は、組織的な取組により事業効果を高めなければならないことから、庁内の組織機構や体制、事務分掌等の見直しも必要である。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	観光PR推進事業（政策）						事業類型	広報・啓発	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	03			
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
①観光の推進体制とPRの充実						観光担当		自転車・企画推進担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 県観光協会等の各種関係機関との連携により、県外も含め広域的に市の観光を周知させるとともに、市ブランド「湖山の宝」の形成による地域地名度を高める。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 県及び観光関連団体、関係市町村との連携を推進し、県外も含め広域的に当市の観光をPRさせる効果がある。	【対象者】 観光関連団体、来客者	
【全体概要】 県及び県観光協会・JR東日本・水郷筑波国定公園近隣の関係市との連携を促進し、県外も含め広域的に市の観光を周知させるためのPRを行うとともに、新たなソーシャルネットワーク活用により、観光交流人口の拡大を図る。	【特記事項】 なし	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR活動</li> <li>・湖山の宝普及促進</li> <li>・観光ガイドマップ作成</li> <li>・JAF（日本自動車連盟）との連携</li> <li>・広域観光団体との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR活動</li> <li>・湖山の宝普及促進</li> <li>・観光ガイドマップ作成（リニューアル）</li> <li>・JAF（日本自動車連盟）との連携</li> <li>・広域観光団体との連携</li> <li>・観光協会HPのリニューアル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PR活動</li> <li>・湖山の宝普及促進</li> <li>・JAF（日本自動車連盟）との連携</li> <li>・PR動画（帆引き船）の作成</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	1,112	5,686	3,025
歳入計（千円）		1,112	5,686	3,025
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	5	14	26
	11 需用費	653	705	638
	12 役務費	104	104	113
	13 委託料	350	4,863	2,248
歳出計（千円）（A）		1,112	5,686	3,025
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -46.7 予 -56.8
職員人工数		0.65	0.55	0.90
職員人件費（B）		4,886	4,264	7,024
総事業費（A）＋（B）		5,998	9,950	10,049

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	観光PR回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
	県内外で観光PRを行った回数		実績	14.00	13.00	0.00
	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	10,000.00	10,000.00	10,000.00
	観光PRパンフレット配布枚数		実績	70,100.00	84,000.00	0.00
成果 指標	市観光協会のホームページ閲覧数	件	目標	200,000.00	200,000.00	200,000.00
	市観光協会のホームページ閲覧者数		実績	298,894.00	278,883.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 広域連携を図りながらの観光の推進体制の充実と当市の観光PR活動の推進を図れている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 県や関係市町村、観光関連団体と連携した観光情報等の発信による交流人口の増加のための重要な施策である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 観光協会のHPをリニューアルしたことにより、更新情報を刷新しデジタルサイネージとの連動する機能まで追加した。今後は、動画や掲載内容の充実などによりアクセス数を増やす余地はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 観光情報等の定期的な情報発信の停止や観光PR活動の縮小にともない、市内外の住民の関心度の低下や来訪機会の減少などの影響が予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 事業として関連性の強い観光や商工などが連携してPR体制を強化することによって相乗効果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 現在は、必要最低限の人員と事業費で費用対効果を高められるよう工夫して取り組んでいる。この事業の成果は、人員数と事業費に比例して向上すると考えられる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市内外の不特定多数の住民を対象としているため、公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	観光協会のホームページを再構築してリニューアルを図るとともに、デジタルサイネージを導入した。今後は、更新頻度を高め掲載内容の充実図っていく。また、引き続きPR素材を活用し、広域連携団体で取組む事業では県外へ、観光協会などの各種団体で取組む事業では市内外へ、積極的にPR活動を展開し情報発信機会の増加を図る。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画)		観光協会のホームページのリニューアルやデジタルサイネージの導入により情報発信ツールの拡充が図れたが、提供する情報の充実と情報発信機会の増加に努めていく。また、新たに観光パンフレットを多言語化して作成したので、外国人に対する積極的なPR活動についても検討が必要である。
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		観光PRにおいては情報発信が非常に重要な施策となることから、引き続き実施方法などに工夫を凝らして事業を推進していく必要がある。ホームページやデジタルサイネージなどは有効な情報発信ツールとなることから、今後の有効活用に期待する。

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度							
事務事業名	観光交流推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 なし
			07	01	03	07	政策経費	
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与
	1 観光						担当課係等	観光課
②観光資源の活用								観光担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 観光協会が実施する諸事業を補助することにより、市の観光情報の提供や知名度を高めることを目指す。また、かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引き船フェスタ等のイベントを開催することで、市内外の来場者の交流を深められる場、ふるさと意識の高揚の場を提供する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 観光協会が主体となって県内外へ当市の観光及び特産品をPRすることで市の認知度が深まり、交流人口の増加が図れるとともに地域活性化に寄与できる。また、祭やイベントを開催することで交流人口の増加やふるさと意識の高揚が図られる。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 帆引き船の操業や各種イベント（かすみがうら祭・あゆみ祭り・帆引きフェスタ）を開催し、文化団体の発表や地場産品等の展示販売を行うことにより、地域文化の創出と産業の振興を図る。	【特記事項】 特になし	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会補助金</li> <li>・かすみがうら祭実行委員会補助金</li> <li>・果樹観光協会補助金</li> <li>・あゆみ祭り補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会補助金</li> <li>・かすみがうら祭実行委員会補助金</li> <li>・果樹観光協会補助金</li> <li>・あゆみ祭り補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会補助金</li> <li>・かすみがうら祭実行委員会補助金</li> <li>・果樹観光協会補助金</li> <li>・あゆみ祭り補助金</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	25,954	23,857	35,816
歳入計（千円）		25,954	23,857	35,816
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	0	7,700
	19 負担金、補助及び交付金	25,954	23,857	28,116
歳出計（千円）（A）		25,954	23,857	35,816
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 50.12 予 49.94
職員人工数		1.25	1.35	1.60
職員人件費（B）		9,397	10,466	12,487
総事業費（A）＋（B）		35,351	34,323	48,303

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	観光イベントの開催	回	目標	20.00	25.00	12.00
	観光の周知拡大と市内の魅力を伝えるためのイベントを開催		実績	25.00	24.00	0.00
	イベント周知対象者	人	目標	400,000.00	400,000.00	500,000.00
	広報誌、チラシ、新聞などでイベントを周知した人数		実績	401,000.00	760,700.00	0.00
成果 指標	交流人口	人	目標	70,000.00	80,000.00	90,000.00
	かすみがうら祭、あゆみ祭り、帆引き船フェスタ等のイベント開催時の来場者数		実績	72,000.00	62,000.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交流人口増加のために補助金を交付して、観光協会の各種イベントやあゆみ祭り、かすみがうら祭など実施しているため重要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交流人口を増加させるためにイベントの開催は重要な役割を担っているが、経費の原資を確保するために市からの補助金は必要である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交流人口の増加のための事業であることから、市外からの誘客をメインコンセプトとしたイベントとする必要がある。そのため、地域住民が楽しむためのイベントとは一線を画す必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 全体で年間7万人程度の来場者があることから、事業を廃止することによる影響は大きい。
効率性 評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> イベントのコンセプトを明確にするため、事業の統廃合を検討する余地は十分に考えられる。住民や事業者も含め広く意見を聴取しながら、根本的な見直しを図ることで成果が期待できる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 地域住民のためのイベントは地域住民によって運営されることにより経費や人件費の削減となる。イベントの企画を洗練することにより、費用対効果を高めることは可能である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 交流人口の増加のために市外から誘客する事業であるにもかかわらず、地域住民が楽しむための要素が強すぎる。イベント内容のバランスを確保することは必要であるが、ターゲットを明確にする必要はある。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	同じイベントを継続することの意義や必要性については、参加・協力団体等への配慮は必要と考えられるものの、将来的な展望を見据えて固定概念にとらわれない見直しは必要である。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) イベント企画などは実行委員会により検討・協議し決定していることから、市が主導して急激に変更することは困難な状況である。しかし、将来的な展望を見据え、イベントのあり方などの検討は必要と考えられる。これまで、継続して実施することに注力しがちであったが、コンセプトや費用対効果、来場者のニーズや各種団体の意向など様々な要素を検証・検討する機会を確保していく。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 市の施策や社会情勢の変化を踏まえ検証や検討の機会を設けることは必要と考えられる。しかし、各イベントを実施してきた実績や背景など考慮すべき点は十分に尊重し、交流人口の増加に向けて事業の推進を図られたい。また、市民協働や生涯学習などのコンセプトが明確なイベント等と重複する内容等については、統合・廃止・分割などの検討も必要である。		



# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	雪入ふれあいの里公園等管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	09	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 身近な自然環境の中で昆虫や野鳥観察及び植物とのふれあい、これらの観察を通じて自然への理解を深める。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 自然環境の豊かな公園で自然とのふれあいを求める来園者が多く癒しの空間となっている。	【対象者】 来客者
【全体概要】 雪入ネイチャーセンター及び三ツ石森林公園の維持管理を指定管理者に委託することで、事業の実施また当該施設の有効活用を図る。	【特記事項】 なし
【平成30年度 事業内容】 ・指定管理者委託	【令和元年度 事業内容】 ・指定管理者委託 ・指定管理事業者選定（第3期） ・遊歩道整備
【令和2年度 事業内容】 ・指定管理者委託	

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	21,596	26,572	21,046
歳入計（千円）		21,596	26,572	21,046
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	421	2,219	0
	13 委託料	21,175	22,273	21,046
	15 工事請負費	0	2,080	0
歳出計（千円）（A）		21,596	26,572	21,046
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -20.7 予 -0.74
職員人工数		0.07	0.16	0.24
職員人件費（B）		527	1,241	1,873
総事業費（A）＋（B）		22,123	27,813	22,919

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報と四半期報の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	回	目標	24.00	24.00	24.00
	協定書に定められた水準にあるか立入調査及び指導を実施する。		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	公園に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	講座受講者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	しぜん教室の受講者数		実績	311.00	273.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつかか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 自然とふれあえる拠点施設として、雪入ふれあいの里公園や三石森林公園の役割は重要であり、自然環境の保護の観点からも重要な施策である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 現在は、指定管理者制度を有効に活用した施設の管理運営を実施しており、住民サービスの向上に寄与できている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 筑波山地域ジオパークに関する連携事業やトレッキングの推進及び環境整備により、身近にある豊かな自然環境をさらに有効活用することが可能となる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 豊かな自然環境とのふれあいについては、市内だけでなく近隣市町村や首都圏など広域的にニーズがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 筑波山地域ジオパークのジオサイトになっていることから、広域的な連携を図ることによる相乗効果を期待している。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 指定管理期間満了に伴い、固定費や人件費相当額等を精査してわずか減額することができたが、これ以上の削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 誰でも気軽に立ち寄れる公共施設のため、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	自然環境整備交付金を活用した遊歩道の整備が完了した。指定管理者の公募において、自主事業の積極的な実施を促し市内外からの誘客を推進した。今後は、継続して施設整備を進めながら、施設の老朽化対策や利便性の向上を図っていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 施設の利便性向上のため遊歩道の整備が概ね完了したが、この施設については、老朽化対策に未着手であることや展望広場の景観が悪くなっていることなどの課題がある。今後は、補助金等を活用して継続した整備を進めていく。また、指定管理期間の満了に伴い、指定管理業務や経費の見直しを図り募集し、県南造園土木を継続して指定管理者として選定した。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 引き続き自然環境整備交付金などの活用を検討しながら整備を進めていく。また、筑波山地域ジオパークのジオサイトとしての活用を指定管理者や関係部署と連携して検討する。また、継続して同一の指定管理者を指定したことから、これまでのノウハウを生かして費用対効果を高めるとともに積極的な自主事業の展開を期待したい。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	交流センター管理運営事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	まち・ひと・しごと創業戦略
			07	01	03	11	政策経費		
総合計画体系	7. みんなでつくる連携と協働のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 産学官連携の推進						市民協働	共催	
	1 産学官連携						担当課係等	観光課	
②サイクリングプログラムを核とした地域活性化DMO推進事業								観光担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 魅力ある農山漁村を創造し、都市と農村の交流及び地域の活性化を目指す。また、市交流センターを設置し、本市の観光案内及び物産、催事等に関する情報の提供並びに本市を訪れる観光客の利便を図るとともに、農山漁村の活性化と地域の振興に資する。	【関連事業】 地域活性化観光DMO推進事業（政策）	
【期待される効果】 霞ヶ浦を背景に地域資源として親水空間の創造と農水産業振興との両輪によって活性化が図れる。また、交流センターの設置によって、観光の振興を推進するとともに、観光交流施設として、市民及び観光客の交流促進と、農水産物等の地場産品の消費拡大が図れる。	【対象者】 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニー	
【全体概要】 地域資源を十分に活用し、都市住民との交流拠点として、農水産物販売施設、湖上レジャー関連施設等を整備することで交流人口を拡大し、観光産業の活性化を図る。	【特記事項】 平成28年10月より指定管理者制度を導入し、株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーが施設管理を含め事業を進めている。	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者選定委員会の開催</li> <li>・交流センターの指定管理</li> <li>・レストラン事業</li> <li>・地域活性化DMO推進事業の展開</li> <li>・サイクリングプログラム事業</li> <li>・マルシェ等販売事業</li> <li>・交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流センターの指定管理</li> <li>・レストラン事業</li> <li>・サイクリングプログラム事業</li> <li>・マルシェ等販売事業</li> <li>・交流事業</li> <li>・地域活性化DMO推進事業の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流センター(古民家・棧橋)の指定管理</li> <li>・古民家プロモーション事業</li> <li>・レストラン事業</li> <li>・サイクリングプログラム事業</li> <li>・マルシェ等販売事業</li> <li>・交流事業</li> <li>・地域活性化DMO推進事業の展開</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	7,916	9,140	28,573
歳入計（千円）		7,916	9,140	28,573
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	28	0	0
	11 需用費	1,208	0	75
	12 役務費	0	0	27
	13 委託料	6,680	8,624	28,433
	18 備品購入費	0	517	0
	27 公課費	0	0	38
歳出計（千円）（A）		7,916	9,140	28,573
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 46.35 予 50.87
職員人工数		0.70	0.16	0.90
職員人件費（B）		5,262	1,241	7,024
総事業費（A）＋（B）		13,178	10,381	35,597

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	指定管理者制度の活用	回	目標	12.00	12.00	12.00
	月例報告		実績	12.00	12.00	0.00
	交流センターとの連絡調整	回	目標	24.00	24.00	24.00
	立入り検査、運営状況のヒアリング等		実績	24.00	24.00	0.00
成果 指標	サイクリングによる交流人口の増加	人	目標	1,000.00	1,200.00	1,200.00
	サイクリングプログラム利用者数		実績	1,213.00	1,061.00	0.00
	地域物産の販売額の増加	千円	目標	46,626.00	41,537.00	28,530.00
	市交流センターのレストラン・マルシェの販売額		実績	37,380.00	42,731.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 霞ヶ浦をはじめとした地域資源を活用し、親水空間の創造と農水産業振興により、活力あるまちづくりを目指すものとして結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーを主体とした地域と連携した取り組みは、地域活性化に資するもので、施策としては妥当といえる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 株式会社かすみがうら未来づくりカンパニーの取組みは地域と連携することを前提にしており、お互いがWINWINとなるものである。今後も事業継続を行う必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 地方創生に資する代表的な取り組みとして進めているもので、休廃止は地域活性化事業そのものの休廃止となってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 観光振興事業との連携事業ではあるが、統廃合する事業ではない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 成果向上を目指している時期で、基本的に縮小する事業ではない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 多くの方が利用される施設等のため、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後も本市観光事業の中心となり、各事業と連動した一体的なものとして進めていくこととする。交流センターを運営するかすみがうら未来づくりカンパニーとの連携を強化し、相乗効果により地域の活性化を目指していく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 貝塚裕行
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 市交流センターは観光DMOを担う拠点となる施設であり、引き続き適切な管理運営に取り組んでいく。 また、交流人口を拡大するため新たな観光プログラム等の開発について、未来づくりカンパニーと連携し取り組む。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策))		記入者: 鈴木芳明
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 市交流センターは、つくば霞ヶ浦りんりんロードの主要拠点としてサイクリング客の利用も増加しているため、引き続き顧客満足度の向上に努め、リピーターの確保につなげる。また、かすみがうら未来づくりカンパニーについては、古民家や棧橋を活用して新たな観光プログラム開発等による新たな顧客発掘に努めるとともに、市として必要な協力を継続する。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	観光サイクリング事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	03	13	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
②観光資源の活用								自転車・企画推進担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
高まるスポーツ参加型イベントのニーズに対応する自動車耐久レースを切り口に、全国のサイクリストに当該地域の魅力をアピールして観光交流人口の増大を図る。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
全国から参加者が集まるイベントを展開することで観光や特産品を全国にPRできる。	サイクリスト及び来客者	
【全体概要】	【特記事項】	
～レイクサイドサイクルフェスタ～「かすみがうらエンデューロ」と「ライドハンターズ」を開催して、全国に向けて市の観光・特産品をPRする。全国から来場する方々や市内外見学者のため、会場設営委託、警備委託、シャトルバス委託料を計上する。	なし	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすみがうらエンデューロの開催</li> <li>・ライドハンターズの開催</li> <li>・霞ヶ浦まるごとグルメフェスの開催</li> <li>・自転車環境魅力共創事業委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすみがうらエンデューロの開催</li> <li>・ライドハンターズの開催</li> <li>・霞ヶ浦まるごとグルメフェスの開催</li> <li>・自転車環境魅力共創事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かすみがうらエンデューロの開催</li> <li>・ライドハンターズの開催</li> <li>・霞ヶ浦まるごとグルメフェスの開催</li> <li>・自転車環境魅力共創事業</li> <li>・周回コース修繕</li> </ul>

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	5,542	3,511	3,455
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	10,264	9,395	18,184
歳入計（千円）		15,806	12,906	21,639
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	199	85	230
	09 旅費	459	326	429
	11 需用費	48	32	40
	13 委託料	14,115	11,479	17,410
	15 工事請負費	0	0	2,200
	19 負担金、補助及び交付金	985	985	1,330
歳出計（千円）（A）		15,806	12,906	21,639
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 67.65 予 38.40
職員人工数		1.05	1.30	1.85
職員人件費（B）		7,893	10,078	14,438
総事業費（A）＋（B）		23,699	22,984	36,077

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	観光PRパンフレット配布枚数	枚	目標	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	大会時における観光PRパンフレット配布枚数		実績	2,000.00	250.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加者人数	人	目標	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	かすみがうらエンデューロレースに参加する人数		実績	1,151.00	0.00	0.00
	来場者人数	人	目標	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	2日間のイベントに来場する人数		実績	7,000.00	250.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 霞ヶ浦湖畔を活用したイベントを実施することにより交流人口を増加させることは、重要な政策事業となっている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> この事業を実施することにより、交流人口の増加や特産品等の効果的PRなどの効果がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> これまでの反省を踏まえたコースの見直しや地域ポイントの活用、イベントのターゲット層の拡充など、サイクリングを通じた観光誘客の促進を図れる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 「かすみがうらエンデューロ」としてサイクリストの知名度も向上している。また、サイクリングに対する市民の機運が盛り上がりを見せている。そのため、事業を廃止することは大きな影響があると考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 地域ポイントの付与事業として連携することにより、交流人口増加やリピート率向上、地域活性化に大きな効果が期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> スポンサーの獲得などで事業費の負担を軽減することは可能である。NPO法人などが実施主体となり、ボランティアなどの協力で自立して実施できる体制が確立されれば、成果を維持しつつコスト削減につながる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> サイクリストだけでなく楽しめるイベントとして実施しているため、公平・公正は担保されている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入 自転車環境魅力共創事業として昨年度設定した市オリジナルコースを活用した「かすいちキャンペーン」、古民家や棧橋との連携事業などの新規事業展開し、新たな楽しみ方を提供することができた。今後は、イベントの開催に依存するのではなく、一定の知名度を得られたサイクリングコースを日常的に楽しむことのできるツールを充実させていく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 今年度はエンデューロが天候不良により中止となったが、新たな市オリジナルサイクリングコースを活用した「かすいちキャンペーン」などの新規事業が好評で大きな成果を得られた。ナショナルサイクルルートに認定をされた追い風を活かし、天候に左右されやすいイベント開催への依存から脱却し、日常的にサイクリングを楽しむためのサービスやツールの提供に注力していきたい。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 日常的にサイクリングを楽しむことのできる場所として歩崎公園を定着させていく必要がある。そのため、歩崎公園がサイクリングコースの発着場所として利用してもらえるように誘導するための施策が重要となる。また、サイクリングと周辺の観光資源を組合せたソフト事業の充実を図り、ターゲット層の拡大を図っていくことも効果的と考える。	

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	古民家活用推進事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	旅館業法/建築基準法/消防法/食品衛生法
			07	01	03	15	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政主体	
	1 観光						担当課係等	観光課	
②観光資源の活用						観光DMO推進担当			
事業期間	単年度のみ								

## 現状把握の部 (D0)

<b>【目的】</b> つくば霞ヶ浦りんりんロード沿線における当市歩崎地域は、雄大な霞ヶ浦をはじめ自然環境や豊富な農水産物を有するエリアである。これら地域資源を活用した体験プログラムの活性化と併せて、古民家を活用した宿泊施設の整備を行う。これらソフト面・ハード面の充実が、来訪者の滞在期間の延長とそれに伴う城内回遊・消費の拡大につなげ、茨城ブランド力の向上と稼げる地域づくりに資するものとする。	<b>【関連事業】</b> 交流センター管理運営事業 観光DMO推進事業	
<b>【期待される効果】</b> 現代人の訪れたい動機となる「食」「場」「癒し」「学び」を満足させる機能を有した宿泊施設として、付加価値を創出し県内外からの誘客促進が期待される地域の振興拠点となることを目指すとともに、宿泊施設と連動した様々な体験プログラムが、地域の事業者と連携した取り組みとなることで、城内事業者等の経済波及効果の向上につなげ、歩崎地域の更なる「交流・関係人口の拡大」と「稼ぐ地域づくり」に資することが期待される。	<b>【対象者】</b> 市内外の訪問者 地域の事業者等	
<b>【全体概要】</b> 観光周遊ルートの重要な拠点を担うことのできる魅力的な施設を整備することとして、当地域内の古民家を宿泊施設に改修する。改修の中で訪れる方や地域の方々に愛着を持ってもらう施設を目指すこととして、床や壁塗りなど宿泊施設の改修に係る作業をワークショップとして改修工事の中に取り入れたソフト事業を展開するなど、古民家改修モデルとして構築する。	<b>【特記事項】</b> なし	
<b>【平成30年度 事業内容】</b>	<b>【令和元年度 事業内容】</b>	<b>【令和2年度 事業内容】</b>
事業なし	○古民家活用推進事業 ・茨城県古民家活用合同研究会及び古民家ワーキング ・古民家改修ワークショップの開催 ・改修の調査、設計、改修工事	事業なし

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	4,999	0
	県支出金	0	9,999	0
	一般財源・その他	0	6,515	0
歳入計（千円）		0	21,513	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	0	20,526	0
	22 補償、補填及び賠償金	0	987	0
歳出計（千円）（A）		0	21,513	0
（参考）		当初予算額	0	当初予算額
職員人工数		0.00	0.50	0.00
職員人件費（B）		0	3,876	0
総事業費（A）＋（B）		0	25,389	0

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	古民家ワークショップの開催	回	目標	0.00	4.00	0.00
	古民家改修と合わせた古民家再生に係るワークショップの開催実績		実績	0.00	4.00	0.00
	古民家改修に係る関係者との打ち合わせ	回	目標	0.00	6.00	0.00
	古民家活用合同研究会及び古民家ワーキングの参加		実績	0.00	6.00	0.00
成果 指標	古民家改修に係る進捗率	%	目標	0.00	100.00	0.00
	古民家の宿泊施設への転用工事の進捗		実績	0.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 地方創生総合戦略に掲げ課題となっていた宿泊機能の充実を図るための施策のため結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 歩崎地域観光振興アクションプランの実行のために必要な施設整備であることから妥当である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 古民家改修が完了していることから、本事業のみを考えれば成果向上の余地はないが、外構工事が未了なことから施設一帯としては成果向上の余地はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 新たな古民家事業に着手したばかりであるから、拙速に廃止・休止を検討すべきではない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 施設の運営については、交流センターの附属施設として指定管理者へ委託となることから、交流センター管理運営事業や観光DMO推進事業との統廃合・連携は可能である。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 本事業としては終了しているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 誰でも、体験や宿泊を楽しむことが可能な施設のため公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	寄附を受けた古民家を改修して宿泊施設として転用完了している。今後は、指定管理者と連携して宿泊と組み合わせた地域資源を活用した体験プログラムを提供の充実を図っていく。また、敷地内を活動フィールドとして有効活用するための整備についても検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 古民家江口屋として宿泊施設への転用は完了した。今後の課題としては、施設を有効活用した観光誘客の推進を図るため、指定管理者と連携したプロモーションや通年での体験プログラムの提供を実施していく。また、寄附を受けた敷地を庭として有効活用するため、より農業なども含めた体験フィールドとしての整備や景観の向上などを図っていく必要がある。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：鈴木芳明 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 当市の課題でもある宿泊機能の充実による滞在時間の延長について効果的な事業であり、今後の活用方策による成果の向上が大いに期待できる。今後、利用者の満足度向上を図るため、必要な環境整備を検討されたい。		



# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	歩崎公園管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	04	政策経費		
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 市内の家族連れをはじめ、近隣市民の憩いの場を提供し、誘客に努めるため、観光との連携により観光産業の振興を図る。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 市内の家族連れをはじめとした近隣住民、首都圏等からの観光客に憩いの場を提供し、多様な楽しみ方を満喫してもらうことでリピート率を向上させ、交流人口の増加と地域経済の活性化、地域の活力増強に期待できる。	【対象者】 来客者
【全体概要】 公園（歩崎園地・森林公園・あゆみ庵・民家園・改善センター・艇庫）の清掃作業業者委託・修繕・光熱水費及び土地借上料の計上。	【特記事項】 なし
【平成30年度 事業内容】 ・歩崎公園トイレ解体・新設工事単価入替業務委託 ・歩崎公園トイレ解体・新設工事 ・歩崎公園棧橋設置調査業務委託 ・歩崎公園棧橋設置工事基本実施設計業務委託 ・網いけす撤去工事委託	【令和元年度 事業内容】 ・棧橋設置工事
	【令和2年度 事業内容】 ・歩崎公園園地整備設計・工事 ・船舶昇降設備撤去 ・樹木伐採

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	7,020	23,001	13,000
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	55,326	96,055	10,893
歳入計（千円）		62,346	119,056	23,893
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	0	130	0
	13 委託料	24,183	6,066	3,740
	15 工事請負費	38,163	112,860	20,153
内訳				
歳出計（千円）（A）		62,346	119,056	23,893
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決
		57,801	127,972	-79.9
職員人工数		0.40	0.40	予 -81.3
職員人件費（B）		3,007	3,101	4,293
総事業費（A）＋（B）		65,353	122,157	28,186

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	歩崎公園棧橋設置打ち合わせ	回	目標	20.00	30.00	0.00
	請負業者、関係機関との打ち合わせ		実績	20.00	30.00	0.00
	歩崎公園イベント広場整備打合せ	回	目標	0.00	10.00	30.00
	請負業者、関係機関との打ち合わせ		実績	0.00	10.00	0.00
成果 指標	歩崎公園棧橋設置進捗率	%	目標	25.00	100.00	0.00
	歩崎公園棧橋設置に係る工事の進捗状況		実績	25.00	100.00	0.00
	歩崎公園イベント広場整備進捗率	%	目標	0.00	10.00	100.00
	歩崎公園イベント広場整備に係る工事の進捗状況		実績	0.00	10.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 歩崎公園は観光拠点として重要な役割を担っており、新たな機能追加による棧橋整備や排水機能が低下したイベント広場の整備は必要な事業である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 歩崎公園イベント広場の整備については、防衛省の再編交付金を活用した事業であることから、市が実施しなければならない事業である。また、新たな水辺のアクティビティの充実のため棧橋整備は必要な事業投資である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 歩崎棧橋の設置工事は完了しているため成果向上の余地はない。歩崎公園イベント広場の整備については、排水機能の向上や整地など工事概要が確定しているため、成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 観光拠点の機能充実を図るための事業のため、歩崎公園の交流人口に影響が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業や連携事業はない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 事業費の概算が概ね完了していることから、事業費の削減の余地はない。人件費については、事務を分散化させて課内調整により対応しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 多くの来訪者が利用する施設であることから、公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善 方策・ 方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	歩崎棧橋の設置工事は完了した。歩崎公園のイベント広場の整備に係る設計業務等に着手しており、令和2年度の工事完了を見込んでいる。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 棧橋設置工事は滞りなく完了した。アクションプランに基づく機能性の充実がさらに図られたので、周辺一帯での複合的な活用や未来づくりカンパニーをはじめとした民間事業者等と連携した事業展開を推進していく。また、防衛省の再編交付金を活用したイベント広場の整備工事は、令和2年度中の工事完成に向けて確実に準備を進める。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 )		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 観光拠点として重要な役割を担う歩崎公園周辺施設の整備は、今後の交流人口増加に大きな影響を及ぼすことが予想されるため、迅速かつ適切に整備を進める。また、歩崎地域観光振興アクションプランの確実な実行のためにも、ソフト事業の充実を図るとともに森林公園を有効に活用する方策を検討していく必要がある。社会情勢の変化に遅れることなくスピード感を持って対応されたい。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	水族館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			07	01	04	06			
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	行政の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備								観光担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

【目的】 観光レクリエーション基地あるいは、広域観光ルートの拠点として、霞ヶ浦を始め、淡水に生息する珍しい魚類等を展示・飼育することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めると共に、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 霞ヶ浦の淡水に生息する珍しい魚類等を飼育・展示することで自然保護と動物に対する理解を深めるとともに、教育・文化の発展につながっている。	【対象者】 来客者	
【全体概要】 霞ヶ浦の魚類や世界の珍しい生き物を飼育展示することにより、自然保護と動物福祉に対する理解を深めるとともに、学術及び教育・文化の発展に寄与する。	【特記事項】 平成29年度に指定管理者の切り替え（第3期） 令和元年度に大規模改修工事完了	
【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】	【令和2年度 事業内容】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者委託</li> <li>・指定管理者変更に伴う備品整備</li> <li>・水族館改修工事設計業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者委託</li> <li>・水族館改修工事設計業務委託</li> <li>・水族館改修工事</li> </ul>	指定管理者委託

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	13,402	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	8,088	58,886	8,245
歳入計（千円）		8,088	72,288	8,245
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	0	213	0
	13 委託料	8,025	12,177	8,245
	15 工事請負費	0	59,169	0
	18 備品購入費	63	0	0
	22 補償、補填及び賠償金	0	729	0
歳出計（千円）（A）		8,088	72,288	8,245
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -88.5 予 -88.2
職員人工数		0.17	0.26	0.24
職員人件費（B）		1,278	2,016	1,873
総事業費（A）＋（B）		9,366	74,304	10,118

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	事業報告書の確認	回	目標	12.00	12.00	12.00
	指定管理者からの月報及び四半期報告の確認		実績	12.00	12.00	0.00
	施設のモニタリング調査	件	目標	12.00	12.00	12.00
	協定書に定められた水準にあるか、立入調査及び指導		実績	12.00	12.00	0.00
成果 指標	水族館来館者数	人	目標	45,000.00	46,000.00	47,000.00
	水族館への来館者数		実績	36,624.00	34,659.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 水族館は県内でも3施設のみとなる希少な観光施設である。年間4万人程度が来場するこの施設は、市の重要な観光施設である。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 指定管理者制度を活用した施設の維持管理や各種事業運営を実施しており、施設の効率的な管理運営や事業展開を実現できている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 新たな指定管理者の事業計画に基づき確実に事業が展開されることになれば、これまで以上の成果が期待できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 開館から長い歴史を有し、地域の水族館としての高い認知度により一定の入場者を確保できる観光施設を閉館することは、大きな影響があると考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 市としては、類似事業がなく連携の可能性も希薄だが、指定管理者の努力によりさまざまな分野での連携は期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 指定管理者の指定のタイミングで判断することから、事業費のコスト削減については評価しがたい。また、指定管理者制度を活用していることから人件費については必要最低限のため削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 多くの方が利用する施設であるため、公平・公正については保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	指定管理者の事業計画に基づき確実な事業が実施されるよう、定期的な状況確認を実施しながら指導・監査を実施する。また、連携事業については、関係部署との調整等に協力する。大規模な改修工事が完了したことから、展示方法が改善されるとともに展示魚類の種類が増加したので、積極的な自主事業の開催や展示の工夫などにより入館者の増加を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 指定管理者が事業計画に基づき運営しているかを定期的に状況確認し、指導・監査を実施する。老朽化対策として大規模な改修工事を実施したことで、内装を一新して展示内容の充実を図ることができた。今後は、減少傾向にある入館者数を増加させるとともに、歩崎周辺地域全体の誘客力の向上を図れるよう、地域事業者や各種施設、環境科学センターなどとの連携を強化していく。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 改修工事等のための休館などによる影響はあるものの、年間入館者数においては減少傾向にある。施設の大幅なりニューアルにより課題となっていた老朽化対策等は完了したことから、入館者を増加させるために新たな事業や連携事業などの多角的な事業展開について指定管理者との連携を強化していく。		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	令和元年度								
事務事業名	あゆみ庵管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	なし
			07	01	04	08			
総合計画体系	2. 産業の振興で活力あふれるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 観光の振興						市民協働	市民の関与	
	1 観光						担当課係等	観光課	
③観光拠点の整備						観光担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

## 現状把握の部 (D0)

<b>【目的】</b> 市民や観光客の福祉増進、教養の向上及び余暇の充実に資するため、一息つく憩いの場を提供し、水族館や資料館などへの周遊性を高める。	<b>【関連事業】</b> なし
<b>【期待される効果】</b> 貴重な茶室専用の施設として、市民及び観光客の余暇の充実に資するため重要な役割を持つ。	<b>【対象者】</b> 来客者
<b>【全体概要】</b> あゆみ庵を有効に活用するため、維持管理費と運営委託の費用を計上する。	<b>【特記事項】</b> なし
<b>【平成30年度 事業内容】</b> ・あゆみ庵運営事業	<b>【令和元年度 事業内容】</b> ・あゆみ庵運営事業
	<b>【令和2年度 事業内容】</b> あゆみ庵運営事業

## ■事業費

		H30年度	R01年度	R02年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	300	300	300
歳入計（千円）		300	300	300
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	300	300	300
歳出計（千円）（A）		300	300	300
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 0.00 予 0.00
職員人工数		0.08	0.08	0.08
職員人件費（B）		602	621	625
総事業費（A）＋（B）		902	921	925

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	あゆみ庵の見回り回数	回	目標	50.00	50.00	50.00
	職員が実施する年間の見回り回数		実績	50.00	50.00	0.00
	あゆみ庵借席件数	件	目標	3.00	20.00	20.00
	一般の人があゆみ庵を利用（借用）した件数		実績	8.00	14.00	0.00
成果 指標	あゆみ庵に関する苦情件数	件	目標	0.00	0.00	0.00
	苦情件数		実績	0.00	0.00	0.00
	あゆみ庵来庵者	人	目標	500.00	500.00	500.00
	あゆみ庵来庵者数		実績	277.00	386.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 茶室専用の施設は貴重であり、市民及び観光客の余暇の充実に重要な役割を持っている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 市民及び観光客の福祉増進、教養の向上、余暇の充実に図られている。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 積極的な情報発信や潜在的なニーズの掘り起こしによる誘客によって利用者を増加させることが期待できる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない <b>【理由】</b> 施設を有効活用するための事業であることから、交流人口の減少が懸念される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <b>【理由】</b> 類似事業はない。連携においては、市内小中学生や高校の茶道部が文化・教養の向上のために体験学習の実施機会を増やすことで成果を期待できる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <b>【理由】</b> 委託費については、施設の維持管理や団体の活動資金として有効に利用されているが、潜在的なポテンシャルをより発揮することより成果の向上によるコスト削減に結び付けられる可能性がある。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <b>【理由】</b> 施設利用者だけでなく、イベントなどの来場者も対象に事業を実施しているため公平・公正は保たれている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	委託団体等とどのようにすれば利用者が増やせるかを具体的に検討する。まずはHP等を活用した情報発信を強化し、運営方法や委託費についても見直しを実施していく。また、周辺に古民家江口屋が新設されたことから、今後は連携した活用も検討していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：貝塚裕行 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） HP等を活用した情報発信に努め、施設利用者の増加を図る。また、委託団体等と連携して新たな事業展開や施設の有効活用について検討していく。古民家江口屋との連携を図り、お茶の体験プログラムなどの提供を検討する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：鈴木芳明 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ロケーションに恵まれた近隣でも貴重な茶室施設については、他市町村との差別化できる観光施設であることから、その優位性を有効活用した事業展開が必要である。		